第８章

亀岡市文化財保存活用地域計画の推進体制

第１節　亀岡市文化財保存活用地域計画の推進体制

１　地域計画の推進体制と更新について

亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会の後継団体として亀岡市文化財保存活用地域計画推進協議会（以下、協議会）を発足させ、協議会により計画記載の方針･措置の進捗について検証･確認することとし、事務局は亀岡市教育委員会歴史文化財課に設置します。

委員会は、現在亀岡市文化財保存活用地域計画に係る協議会の構成員が参画し、各年度に、会議を年２回開催します。

年度当初の会議では、旧年度実施事業の成果を確認するとともに、課題の確認･情報共有を行い、年度末の会議では、次年度実施事業の確認を行います。

会議では、協議会の構成員である亀岡祭山鉾連合会、佐伯灯篭保存会などの関係団体は、各団体における旧年度事業の課題、次年度実施予定事業を集約したうえで、協議会で共有します。

別院地域のこれからを考える有志の会、あまぶれ史談会などの各地域の地域住民（支援団体）の活動状況や課題、次年度の予定については、事務局（歴史文化財課）がヒアリング等を通じて各年度に把握し、協議会の場で報告・共有します。亀岡市の文化財部局および観光部局、まちづくり部局などは、協議会の場で自らの担当事業について報告・共有します。

また、文化財部局や各地域の調査の結果、文化財指定の必要が生じた場合は、亀岡市文化財保護委員会において検討します。

以上のような体制によって、本計画の確実な遂行を進めることとします（図３０参照）。

なお、次回の計画（令和１５年度～令和２４年度）への更新は令和１４年度（２０３２年度）に実施することとし、この更新に係る協議も協議会の場で進めるものとします。

事業の成果の確認については、下記の KPI 指標を基準に評価します。

KPI（指標）	基準値（令和４年８月時点）	目標値（令和４年８月時点）	指標の進捗
把握された文化財件数	１３６３ ＊「亀岡の名木」を除く件数	１５００ ＊「亀岡の名木」を除く件数	増加
文化財の指定文化財件数※	２３６	２４７（５％増加）	増加
文化財保存団体の 加盟人数の増加	６２８	６９０（１０％増加）	増加

※は「亀岡市教育振興基本計画」と同じ指標。

２　支援団体について

亀岡市文化財保存活用地域計画の推進にあたり、地域による文化財の保存・活用を目指すため、亀岡市内で文化財の調査・保存・普及啓発に努める団体を支援し、中・長期的には文化財部局と連携しながら、市内所在の文化財が地域主導により保存・活用されていく体制づくりを目指します。

ここに掲げる団体に加えて、各団体での活動団体の育成・連携に努めます。

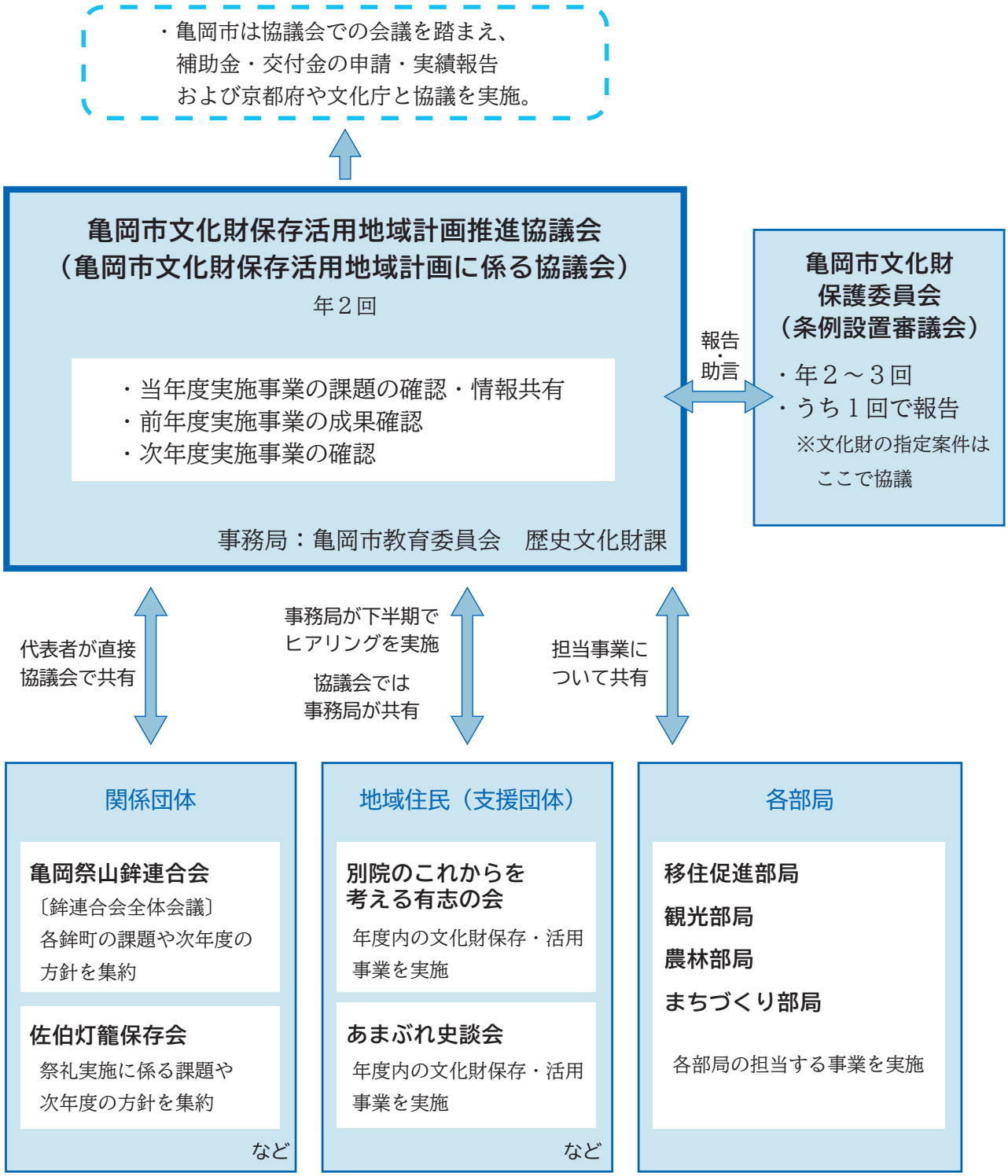

図３０　亀岡市文化財保存活用地域計画の検証体制

第２節　計画における各団体の構成

協議会の構成団体を次に示します。

なお、各団体の名称および専門委員の所属は、令和４年１２月現在のものです。

文化財部局においては、今後の調査事業の実施に備えて、埋蔵文化財や美術工芸品の調査に従事できる学芸員（専門職）の人員を確保していく必要があります。

・事務局

計画における位置づけ	団体の名称	担当事業
文化財部局	亀岡市教育委員会歴史文化財課 文化資料館 職員は１３名うち専門職　８名 専門職のうち　正規職員　４名 非正規職員　４名	文化財の調査・研究～保存・活用に関する事業

・亀岡市　関連部署

計画における位置づけ	団体の名称	担当事業
移住促進部局	亀岡市市長公室 SDGs 創生課	古民家再生、移住促進等の事業（㉚）
観光部局	亀岡市産業観光部商工観光課	文化財を活かしたツアーの構築、保津川遊船企業組合との連携、川の駅を生かした事業（㉛㉜㉝㉞）
農林部局	亀岡市産業観光部農林振興課	行事食や京野菜等の普及啓発に関する事業（㉔㊱）
まちづくり部局	亀岡市まちづくり推進部都市計画課	城下町等における景観保全、道の整備等の事業（⑩）

・地域住民（支援団体）

計画における位置づけ	団体の名称	担当事業
地域住民	丹波 NEW 風土記の里整備推進協議会	地域住民と連携する事業（①⑤⑧⑨⑳㉔㉕㉖㉘㉙㉟ほか）
地域住民	別院地域のこれからを考える会	
地域住民	あまぶれ史談会	
地域住民	宮川郷士会	
地域住民	亀岡市文化資料館友の会	

・関係団体（事業担当団体）

計画における位置づけ	団体の名称	担当事業
関係団体	亀岡祭山鉾連合会	後継者育成を目指した市内団体の連携会議の実施、担い手育成プロジェクトの実施（⑳）
関係団体	佐伯灯籠保存会	
関係団体	保津川遊船企業組合	市との連携による教育体験旅行の催行、保津川下り・筏流しの普及啓発事業（㉑㉜㉝㉞）
関係団体	亀岡市観光協会	ガイドの育成、文化財を活かしたツアーの構築（㉖㉛～㉞）
関係団体	森の京都 DMO	文化財を活かしたツアーの構築（㉛～㉞）

・専門委員

氏　　名	所　　属	担当事業
大場　修	立命館大学歴史都市防災研究所 教授	事業内容のチェック、 調査指導・助言
上杉　和央	京都府立大学文学部 准教授	事業内容のチェック、 調査指導・助言
田中　智子	京都大学大学院教育学研究科 教授	事業内容のチェック、 調査指導・助言
松岡　久美子	近畿大学文芸学部 准教授	事業内容のチェック、 調査指導・助言
森　正	京都府教育庁指導部文化財保護課 課長	事業内容のチェック、 調査指導・助言

※亀岡市文化財保護委員会については、序章ｐ１５を参照。